

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和5年3月1日

事業所名 つみき第7 保護者等数(児童数) 21 回収数 14 割合 66 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	12	1	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切である	12	2			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	4	7	2		(未記入数:1)
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	11	2	1		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	11	1		長期休みの際には社会活動として色々な場所に連れて行ってくださり大変有難く思っています!	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	9	4		コロナ禍により、児童館の利用は自粛中。西新井のキャラクシティにて、一般児童とデジタルサッカー(5名先取で光のボールを蹴り合う)で遊ぶ交流有り。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	12	1	1		近隣の学校に通学する児童においては、小4～5あたりから自主通所や帰宅(昨年度:6名一現在8名)に切り替えるパターンも増えてきており、送迎の保護者と様子伝え合う機会は、相対的にやや減少傾向にある。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	10	2	2		コロナ禍により自粛していた面談は、希望者のみ実施するという形で、今年度に2回告知(希望者無しのため、実施はせず)。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	4	6	4		保護者交流の機会にもなり、例年11月に実施していた活動報告会は、コロナ禍により全事業所で自粛を継続中。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	3			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	12	1	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	11	2	1		
非常 時等 の 対応	⑭	個人情報に十分注意している	12	2			
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	9	4	1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	7	7		子供の利用日以外で実施されているかと思いますが、分からずすみません。	各曜日での実施は出来ていないが、消防署に提出する年2回の公式訓練は実施済み(職員研修、避難訓練)。児童と一緒に防災リュックの中身や各品の用途確認等も行った。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	11	2			(未記入数:1)
	⑱	事業所の支援に満足している	11	1	1		(未記入数:1) 今年度の途中退会者は2名(1名は転居、1名は、児童の入院をきっかけに、それまで問題なかった保護者と離れての利用が難しくなった為)。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等  
デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和5年3月1日

事業所名 つみき第7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	3				
	②	職員の配置数は適切である	1	2		小学校に入学したばかりの 新規児童に関しては、環境 になれるまでの間、学習を 含めた1~2時間程度の利用 形態を提案している。	課題:自学自習が難しい、余暇時間でも要 見守りが必要な場合や、各登所時間のズ レがある際等に、学習と余暇支援に対応 する職員数と利用児童数とのバランス(対 比)に備りの生じる場合がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている		3		昼間でも、階段三か所の照 明は常時点灯させている。 過去、足の小指を骨折した 児童が利用の際、(私用の) 車椅子は階段下に置く対応 有り。	課題:階段があるので、ケガをした子がい ると昇り降りが難しい
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	3				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	3				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	3				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	2		1	つみきの理事長や、公文の サポート職員に、定期的な 巡回をして頂いている。	課題:法人全体としての第三者評価は継 続した検討事項。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	3				
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	3				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	2		1	学習支援に関しては、見学 時に公文教材の診断テスト や数字盤・パズル等を使っ て、運筆・音読・計算・算中 力等を判断、学須進路を定 めている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	3				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	2	1			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	3				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	3				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	3				
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	3				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等 サービス計画の見直しの必要性を判断 している	3				
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	2	1			
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	2	1			
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている			3	自主通所の児童が他部署と 併用している場合は、そちら から学校の予定表を確認さ せてもらったり、児童本人か ら早下校の有無を確認して いる。メールで保護者の意 向（例：塾があるので〇時に 出して欲しい）も確認してい る。	課題：これまで保護者からコピー等を頂い ていた週～月間予定表等が、自主通所に 切り替わったタイミングでもらえなくなる場 合が有り。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	2	1			
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	1	2			
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	1	2			
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	1	2			
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある		1	2	公園遊びや外出先での活動 を通して、自然発生的に交 流が生まれる場合が稀に見 られる。	課題：コロナ禍以前までは、夏祭りに参加 したり、年少メンバーの活動場所としても 活用する事があった児童館は、現在も自 費を継続中。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している		2	1		
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	3				
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	2	1			
保	⑳〇 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	3				
	⑳〇 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3				
	⑳〇 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	1	2			保護者交流の機会にもなり、例年11月に 実施していた活動報告会は、コロナ禍によ り全事業所で自粛を継続中。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3				
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3				
	③⑤	個人情報に十分注意している	3				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	1		
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3				
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3				

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。